



埼玉県政に挑戦！ 35歳 無所属 すがわら文仁



ふみ ひと

レポート第38号 戸田市美女木 8-21-6 TEL・FAX 048-422-1673
メール sawayaka@sugawarafumihito.com
URL sugawarafumihito.com
ご意見、ご要望など、ございましたらお気軽にご連絡下さい！

プロフィール すがわら文仁

■昭和50年7月30日 生まれ(35歳)戸田市立美谷本小学校、同美笹中学校、埼玉県立伊奈学園総合高校、日本体育大学卒業、明治大学大学院修了(公共政策学修士) ■選挙:平成17年市議会議員選挙(1993票賜り2位で当選)平成21年市議会議員選挙(4143票賜り市議会歴代1位で当選) ■役職等:無所属 市民生活常任委員会 戸田市体操協会会長 地方自治学会会員 埼玉坂本龍馬会幹事 若手政治家養成塾事務局長 上田清司政治塾運営委員ほか ■資格:教員免許(保健・体育) ■趣味:読書、史跡巡り、B級グルメ探し ■特技:バク転、のび太並みの早寝 ■座右の銘:上杉鷹山公(米沢藩主)の「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとも」 ■夢:努力した人が報われる社会の実現
発行者 菅原文仁 戸田市美女木8-21-6 Tel/Fax048-422-1673

埼玉新聞 (2011.1.14 朝刊)

県選選出馬表明

共通政策掲げ 保守系3市議

無所属の地方議員でつくる「若手政治家養成塾」を母体とする保守系市議3人が13日、県庁で記者会見し、政治団体埼玉県政を改革する会を立ち上げ、4月の県選に出馬する。無所属で出馬することを表明した。教育・子育て環境の充実や財政再建の推進、議事基本条例の制定、議員定数・報酬の大幅削減などの共通政策を掲げて立候補する。3人は「市議の経験を生かし、埼玉から日本をよみがえらせたい」と抱負を述べた。3人の主張は次の通り。

▼白土幸仁氏(東8区) 春日部市議 3期目の政議改革の全てを仕組みをもう一度見直し、必要がある。特に財政改革は重要」と指摘し、県政健全化条例の制定や低価格入札の特別重点調査の導入、持続可能な地域福祉の充実など公約に掲げ

▼井上航氏(南23区) 和光市議 1期目の井上航氏(和光市)は南23区を表明。「和光から埼玉を変えたい」と述べた。個別政策では

▼菅原文仁氏(南20区) 戸田市議 2期目の菅原文仁氏(和光市)は南20区を表明。「和光から埼玉を変えたい」と述べた。個別政策では

春の統一地方選挙

4月10日投票日へ。

埼玉県内では、県議会議員選挙、さいたま市議会議員選挙が4月10日に行われる予定となりました。戸田市は南20区(定数2)選挙区となります。

埼玉県庁記者クラブで出馬会見



埼玉県政 改革宣言！

今春に向けた、決意表明

新聞報道(朝日、毎日、東京、埼玉各紙)にもありますように、この度、今春4月10日の統一地方選挙(県議会議員選挙)に、出馬させていただくことを決意しました。

29歳で市議会に初当選以来の約6年間、若輩者ですが政治に人生を賭けて頑張ってきました。

1期目。ただがむしやりに政治を変えたいと訴えました。目上の方々とぶつかることもありましたが、いくつかの政策を実現することができて、政治の本質や難しい部分、汚い部分を垣間見ることができました。

2期目。「それじゃ落ちるよ」といわれながらも、72項目の具体的で詳細な政策提言と、本人自転車御用聞き市民の声を直接聞くスタイルを貫きました。お

げさまで、戸田市政始まって以来という、2位の方に2000票差の4143名の方々からの応援をいただき、2期目に当選させていただきました。

当選後から今まで、1期目よりもさらに政策実現させ、市民のための政治を追求して参りました。

私がこれまで、しがらみや馴れ合いとは無縁に、長いものに巻かれずに活動できましたのも、「頑張れ、まけるな」と応援していただいた、皆様のおかげです。改めまして、本当にありがとうございます。

この度の埼玉県政への挑戦は、今までの6年間のいろいろな経験や出会い、応援してくださる方々の力強いご推挙、そして自分の政治への志をもう一度見つめ直して、悩み、考えた末に、あえて退路を断って「県政の場に挑戦したい」と、出した結論です。

市議として感じてきた都道府県と市町村の制度の壁。県の情報公開の不足と、政治家が説明責任を果たさない事による市民の意識と県政の乖離。今こそ地方分権を現場の都道府県で論じる必要があること。教育の正常化や少子化対策。県財政は戸田市の比ではなく、借金に借金が重なり債務残高が3兆円を超えており、指をくわえているだけの行政。議会のリストラも徹底してやらなければなりません。世代間格差や地域福祉の格差など問題の山。そして、選挙の前だけ現れて「あれもやりたい。これもやります。」という、口だけで市民を欺く、汚い政治家への怒り。

何よりも、国家や市民のために責任を果たすと決めた「志」に基づいた使命のために。

私は政治の世界に身を投じて6年、今年35歳になります。もし、挑戦が叶ったならば、35歳から40歳まで、人の人生において一番、体力と気力、そして知力が充実する4年間を、戸田市の代表として、政治の現場で発揮させていただきます。そして今こそ、世代交代によって、混乱して将来に夢の持てない政治を再生し、復活させなければならないのです。

さはさりながら、私の挑戦についてのご批判もあると思います。特に、投票していただいた方の中に、「4年間頑張ってほしかった」とお考えの方もいらっしゃるかと思います。任期途中の辞職。大変申し訳なく思っていますが、考え悩んだ末の、政治を変える大義ある事と思つての決断であり、お許しいただければと存じます。(政治家は、説明責任を果たす事が一つの使命と考えておりますので、もっと説明を、という方がお

りましたら、直接お話しにお伺いします。ご連絡をお待ちしております。)

これからは、より広い意味で、埼玉県政から戸田市と埼玉県の橋渡し役として、違う角度から戸田に貢献し、責務を果たすことを、お誓い申し上げます。

下記に、記者発表した埼玉県政を改革する会の共通政策をお示しいたします。また、これから私の考えている、各分野の公約(マニフェスト)を、お示しして、県政改革の政策をお訴えして参りたいと思いますので、どうぞご覧いただき、ご意見、ご要望をいただければと存じます。

最後に、これからも変わることなく、いつもの通り、どんなに小さなご意見でも、お伺いして、政治に生かして参りますので、ご意見、ご要望、お待ちしております。

今後とも、さらなるご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

菅原文仁

共通政策(埼玉県政を改革する会)

1、教育・子育て環境の充実で「若き県」埼玉の未来を育てる

- ・公立中高一貫校の増加と、教員の質の向上による、県内教育環境の充実。
- ・子どもの貧困をなくして、多様な子育てニーズにきめ細かく取り組む。

2、産業の活性化と雇用を増やして「働く県民を応援する」埼玉県

- ・埼玉県版紹介予定派遣事業の実施など、雇用のミスマッチの解消と新卒の雇用創出。
- ・中小企業に国際競争力をつけ、県産品のブランディング化など、県内産業の活性化。
- ・都内への通勤をより便利にする鉄道・地下鉄・道路網などの整備。

3、健康と命への不安をなくし「長寿の県」埼玉の実現

- ・がん対策や小児救急など、病院間の医療ネットワークの形成。
- ・各種ワクチンや子ども医療費助成など、命に関わる政策の市町村格差を解消。
- ・高齢社会に備えた医療・福祉サービスの充実と、人口比医師数ワースト1位からの脱却。

4、財政再建を推進し「持続可能な埼玉県財政」の確立

- ・「子供にツケをまわさない」財政運営の推進。
- ・聖域なき補助金改革を断行し、補助金・交付金をゼロベースで見直し。

5、「県のリーダーシップ」による、市町村の枠組みを越えた連携を推進

- ・広域連合などの積極的な導入により市町村業務の効率化や経費削減をはかる。
- ・道州制も視野に入れ、財源を含む権限を国から県へ、そして市町村へと移譲する。

6、若い力で「改革の県議会」を主導する

- ・県民への説明責任を果たす議会基本条例を制定する。
- ・議員定数、報酬の大幅削減と、公費による海外視察を廃止。
- ・政務調査費の領収書の全面公開。